

令和4年度

第2回 学校運営委員会

日時 令和4年10月20日(木) 13:30~15:00
場所 大麻小学校 高学年学習室他

◎学校運営委員 <敬称略>

| 氏名 | 住所 | 電話番号 | 備考 |
|----|----|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

1. 授業参観(13:35~14:10)

○別紙「授業参観日程」に、各クラスの教科・学習内容等を一覧にまとめています。
校舎見取り図と合わせてご活用ください。

2. 開 会

3. 校長挨拶

4. 経過報告

5月19日(木) 第1回学校運営委員会
学校運営に係る承認を受け、市教委への報告

5. 授業参観の感想

○各委員の皆さまから一言ずつお願いいたします。
・子どもの様子や授業に向かう姿勢

6. 今年度の学校経営について(別冊資料①を参照)

○今年度の重点を中心に、前期の成果と課題[教頭]

7. 令和4年度学校中間評価について（別冊資料②を参照）

○8月までの学校内での評価[教頭]

*意見交流

8. 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について（別冊資料③を参照）

○本校の状況と今後の方向性[教頭]

*意見交流

9. 令和4年度の学校支援について（別冊資料④を参照）

○今年度これまでの活動と今後の見通し [教頭]

*意見交流

10. その他

11. 今後の予定

○第3回学校運営委員会

期 日 令和4年1月16日（月） 18:00

*学校関係者評価

令和4年度 江別市立大麻小学校 学校運営委員会



*令和4年10月20日(木) 13:30~

江別市立大麻小学校

今年度の重点教育目標

「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子

～伝え合い 認め合い 高め合い～

| | 知識・理解 | 思考力・判断力 表現力 | 学びに向かう力 人間性 |
|---------------------------|---------------------------------|--|--|
| 自ら学び、考えや思いを 生き生き表現できる子 | ・自ら進んで基 礎的な知識や技 能を身に付ける | ・根拠を持って 主体的に説明で きる | ・学びを振り返り、 学んだことを次の 課題や生活場面に 生かす |
| 自らの目標を持ち、 最後までやりきる子 | ・自分の努力目 標を明確にする | ・目標を達成す るために具体策 を考え・行動が できる | ・よりよく目標達 成するために何を すべきか工夫する |
| 自ら進んで元気に活動 できる子（挨拶・反応） | ・集団生活を送る 上で規範意識の大 切さを理解する | ・集団や自分の生 活を向上させるた めに、工夫して活 動や運動ができる | ・健康で安全な生 活を目指し、主体 的に活動や運動に 挑戦する |
| 思いやりの心で 自ら行動できる子 | ・相手の話・行動 を理解する | ・多様な考え方 を認め合い、自 分たちで解決で きる | ・思いやりをもっ て他者と関わり合 い、相手を尊重し た行動をする |

学校経営の重点

～ 学 び 立 ち 向 か う 教 師 ～

*熱意をもって、事にあたる *誠意をもって、児童に接する
*創意をもって、指導に望む

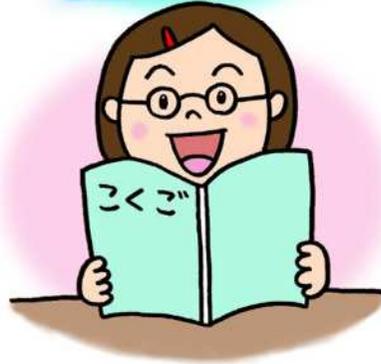
- 教務部 「学ぶ喜び・確かな学力向上の推進」
- 研修部 「『学びに向かう・人間性』を育てる
授業づくりの推進」
- 児童生活部 「自主的・自治的な集団づくりの推進」
- 健康安全部 「健康でたくましい心身づくりの推進」
- 管理文化部 「安全・安心な落ち着いた環境づくりの推進」
- 教 頭 「連携・戦略」

げんきに

「はい」



大麻の子
目指す姿



すすんで

「はい」



さいごまで

「はい」



コロナ禍でも



学びを
進める



1) 基本方針について

- (1) 目標の明確化と共有、全教職員の創意ある活動、協働による教育目標の達成
- (2) 基礎基本の定着
- (3) 特別支援教育・生徒指導体制の充実
- (4) 職員の資質（教師力）向上の取り組み
- (5) 地域・保護者・関係機関との連携

中間評価 評定
平均 4.2

具体的取り組み

- 「経営プログラム」の実施と各学年での取組・総括
- 教務部による学力向上計画の実践
- 各会議に管理職が参加し体制の構築を図る
- 『「学びに向かう力・人間性」を育てる質の高い授業づくり』に向けた研究計画に基づく授業改善
- 学校運営委員会の適切な開催と学校を含めた関係機関への積極的な情報発信

2) 児童の重点目標

「すすんで取り組み、高め合う子」

～伝え合い 認め合い 高め合い～

- 自ら学び、考えや思いを
生き生き表現できる子 **評定 平均 3.9**
- 自らの目標を持ち、最後までやりきる子 **平均 4.0**
- 自ら進んで元気に活動できる子
(挨拶・反応) **平均 4.0**
- 思いやりの心で自ら行動できる子 **平均 4.2**

＜教務部重点＞ 教育課程・学習指導

「学ぶ喜び・確かな学力向上の推進」

重点内容

- ◆自主的、自治的な集団づくり ◆学力向上の推進
- ◆授業改善の推進 ◆指導体制の工夫
- ◆学習環境の充実
- ◆学習常規（大麻小スタンダード）の定着（返事・姿勢など）
- ◆いじめへの毅然とした対応 ◆相談体制の確立
- ◆保護者や地域との連携促進
- ◆教育課程の評価・改善と研修の充実 ◆働き方改革の推進



中間評価 評定
平均 4.3



< 研修部重点 >

「学びに向かう力・人間性」を育てる
授業づくりの推進

重点内容

- ◆ 学力向上の推進
- ◆ 授業改善の推進
- ◆ 教育課程の評価・
改善と研修の充実
- ◆ 今日的教育課題
- ◆ 働き方改革の推進

中間評価 評定
平均 4.3



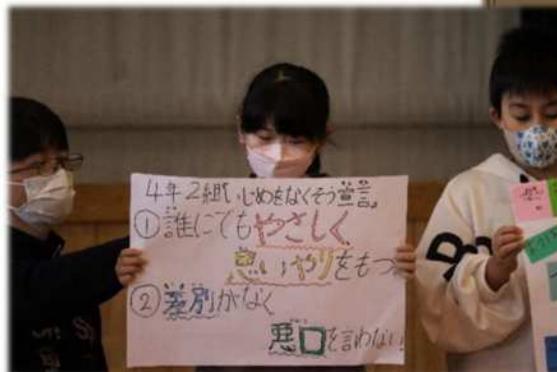
<児童生活部重点> 生徒指導

中間評価 評定
平均 4.3

自主的・自治的な集団づくりの推進

重点内容

- ◆自主的・自治的な集団づくり
- ◆いじめへの毅然とした対応
- ◆防災教育の推進
- ◆働き方改革の推進



<健康安全部重点>

中間評価 評定
平均 4.4

健康でたくましい心身づくりの推進

重点内容

- ◆体力向上の推進
- ◆保護者や地域との連携促進
- ◆働き方改革の推進



<管理文化部重点>

中間評価 評定
平均 4.3

安全・安心な落ち着いた環境づくりの推進

重点内容

- ◆授業改善の推進
- ◆学習環境の充実
- ◆働き方改革の推進



< 教頭重点 >

「連携・戦略」

中間評価 評定
平均 4.6

重点内容

◆ 発信 ◆ 連携 ◆ 整備 ◆ 管理



今年度のP T A活動

可能な限り通常の教育活動を進めるために
⇒ 感染リスクを抑えつつ、できる活動を推進する

各委員会の活動休止・状況を見極めた活動

- ボランティア活動
- 役員会
- 事務局による業務



**学校運営委員の皆様、
後期もどうぞ
よろしくお願いいたします。**



令和4年度 中間評価票

第1部 学校経営・運営

1) 基本方針について

- (1) 目標の明確化と共有、全教職員の創意ある活動、協働による教育目標の設定
- (2) 基礎基本の定着
- (3) 特別支援教育・生徒指導体制の充実
- (4) 職員の資質（教師力）向上の取り組み
- (5) 地域・保護者・関係機関との連携

| 重 点 | 取組（実際・予定） | 評価基準 |
|---|--|---|
| (1) 目標の明確化と共有、全教職員の創意ある活動、協働による教育目標の設定 (2) 基礎基本の定着 (3) 特別支援教育・生徒指導体制の充実 (4) 職員の資質（教師力）向上の取り組み (5) 地域・保護者・関係機関との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・「経営プログラム」の実施と各学年での取組・総括 ・教務部による学力向上計画の実践 ・各会議に管理職が参加し体制の構築を図る ・『「学びに向かう力・人間性」を育てる質の高い授業づくり』に向けた研究計画に基づく授業改善 ・学校運営委員会の適切な開催と学校を含めた関係機関への積極的な情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・「経営プログラム」具体策の可視化の実践。達成度の数値化（達成度8以上） ・教務部の指示のもと日々の実践が行われているか。 ・管理職と各部が日常的に密接に連携している実感があるか。 ・研究主題に迫る理論研修や検証授業を推進し、総括しているか。 ・学校の情報が地域と共有できているか。 |

| | |
|--------|-----|
| 評 定 | 4.2 |
|--------|-----|

*以上5点について、気付いたことや課題、改善すべきこと（自由記述）

・まだまだ各部との連携が密になれる部分があるように感じた。今後も情報共有をしっかりと行っていくようにしていきます。 (小さなことでも、知らないより知っている方が安心です。)

【見解】 1

学校経営・運営を進めていく中で、多岐に渡る問題が起こります。未然防止が一番ですが、起きた問題には、早めの対処、組織的な対応が求められています。そのためにも、情報の発信・共有と職員間の連携は常に意識していく必要があると考えます。丁寧に迅速な連絡・相談・周知を大切にチームとして取組を進めていきましょう。

2) 児童の重点目標

| | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力 | 学びに向かう力・人間性 |
|---|---|-------------------------------------|-----------------------------------|
| ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 a | a-1 自ら進んで基礎的な知識や技能を身に付ける | a-2 根拠を持って主体的に説明できる | a-3 学びを振り返り、学んだことを次の課題や生活場面に生かす |
| ○自らの目標を持ち、最後までやりきる子 b | b-1 自分の努力目標を明確にする | b-2 目標を達成するための具体策を考え、行動ができる | b-3 よりよく目的達成するために何をすべきか工夫する |
| ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） c | c-1 集団生活を送る上で規範意識の大切さを理解する | c-2 集団や自分の生活を向上させるために、工夫して活動や運動ができる | c-3 健康で安全な生活を目指し、主体的に活動や運動に挑戦する |
| ○思いやりの心で自ら行動できる子 d | d-1 相手の話・行動を理解する | d-2 多様な考え方を認め合い、自分たちで解決できる | d-3 思いやりをもって他者と関わり合い、相手を尊重した行動をする |
| 重点 | 「すすんで取り組み 高め合う子」大麻の子～伝え合い 認め合い 高め合い～ | | |
| ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 a | | | |
| a-1 自ら進んで基礎的な知識や技能を身に付ける 【知識・技能】 | | | |
| a-2 根拠を持って主体的に説明できる 【思考力・判断力・表現力】 | | | |
| a-3 学びを振り返り、学んだことを次の課題や生活場面に生かす 【学びに向かう力・人間性】 | | | |
| 評定 | 3.9 | 意見等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがこのように表現できる環境を整備するように心がけたい a-1 基礎的・基本的な知識や技能…については、特に算数では、毎時間、授業終盤に定着のための練習問題やドリル問題に取りくませる時間の確保が必要。また、朝学習も8：15からきっちりスタートし毎日10分間、集中して漢字や計算に取り組ませることで、効果があるのではないかと。 a-3 5年生がトレセン後にしっかりと学びを振り返る学習に取り組んでいた。これはその後の学習にもつながる。単発の行事として終わらせるのではなく、成果と課題を全体で確認し次に生かそうという学年経営は、とても良いと思った。 言われたことは、素直に取り組む子が多いが、根拠をもって説明したり、考えたりする力が十分ではない。下の学年からの経験を積むことの重要性を感じている。 | | | |
| ○自らの目標を持ち、最後までやりきる子 b | | | |
| b-1 自分の努力目標を明確にする 【知識・技能】 | | | |
| b-2 目的を達成するための具体策を考え、行動ができる 【思考力・判断力・表現力】 | | | |
| b-3 よりよく目的達成するために何をすべきか工夫する 【学びに向かう力・人間性】 | | | |
| 評定 | 4.0 | 意見等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 目標を持ち意識して活動させるために、意図的にフィードバックし、最後までやらせきる指導をしたい。「やらせきる」のは、やらせるのではなく、自分からやったという達成感を味わわせたい。 b-1～3 運動会、宿泊的行事など、大きなイベントでの目標設定のさせ方、振り返らせ方が、ほとんどのクラスで素晴らしかったと思う。 学習面では、落ち着いて考えることができているが、学習以外の日常生活では、判断力や行動力がまだ身につけていない子が多いように感じる。 | | | |
| ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） c | | | |

| | |
|-------------------------------------|---------------|
| c-1 集団生活を送る上で規範意識の大切さを理解する | 【知識・技能】 |
| c-2 集団や自分の生活を向上させるために、工夫して活動や運動ができる | 【思考力・判断力・表現力】 |
| c-3 健康で安全な生活を目指し、主体的に活動や運動に挑戦する | 【学びに向かう力・人間性】 |

| | | |
|-----|-----|-----|
| 評 定 | 4.0 | 意見等 |
|-----|-----|-----|

- ・高学年からの挨拶が返ってこないことがありちょっと寂しく感じます。進んで挨拶をしようと頑張っている子はいませんが、何度か声をかけても反応が返ってこない…というところは少し気になっています。
- ・今年は「自分から挨拶」が弱いと思います。そろそろ新しい先生の顔と名前を覚えたと思うので、先生方と児童会太陽と5・6年生を中心に全校のモデルとなっではどうでしょうか。先生方もネームカードを着用すると良いかと思います。
- ・昨年度に比べると「自ら進んであいさつ」という点は物足りない感じがします。
- ・c-1・2 忘れ物をして、先生や職員室で借りたり、コピーをしてもらったりする時、当たり前のように「コピーしてください」「貸してください」という児童が多い。しかし、まずは、失敗を繰り返さないようメモ（小中連携にも関わって）を取り、「～を忘れました。ごめんなさい。」謝罪し、助けてもらった後は、「ありがとうございます。次は忘れないようにします。」などと言えるようになったりすると良いのではないだろうか。
- ・自分たちで工夫して遊んだり、声をかけ合って生活したりする意識がまだ十分ではない。

| | |
|-----------------------------------|---------------|
| ○思いやりの心で自ら行動できる子 d | |
| d-1 相手の話・行動を理解する | 【知識・技能】 |
| d-2 多様な考え方を認め合い、自分たちで解決できる | 【思考力・判断力・表現力】 |
| d-3 思いやりをもって他者と関わり合い、相手を尊重した行動をする | 【学びに向かう力・人間性】 |

| | | |
|-----|-----|-----|
| 評 定 | 4.2 | 意見等 |
|-----|-----|-----|

- ・私自身が率先してこの態度を子どもに示したい。子どもは良くも悪くも身近な大人の真似をすることを肝に銘じたい。
- ・d-1～3 個性的な児童が多い中、5・6年生が仲間を思いやる姿や声かけが素晴らしいと思うし、そういう指導をしている先生方が素晴らしいと思う。
- ・低学年ではまだまだ関わりがうすく、十分ではないと感じる。高学年でも委員会などで積極的に関わったり考えを出し合って活動したりする意識がうすいと感じる。

3) 上記以外で気付いたことや課題、改善すべきこと (自由記述)

| |
|-------------------------------------|
| 上記以外で気付いたこと、課題、改善を凶ってほしいことなど (自由記述) |
|-------------------------------------|

【見解】2 子どもの育ちについて、見解、方策を記入して下さい。

| |
|--|
| <p>教務部</p> <p><自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子></p> <ul style="list-style-type: none"> ・a-1 に関わって。朝学習のご協力ありがとうございます。8：15から全学級で一斉にスタートし、集中して取り組めるよう、よろしく願います。(月・水・金…学年・学級独自の学習補充。火…計算プリント。木…朝読書。) |
|--|

児童生活部

<自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応）>

- 「あいさつ」については、教師・担任にやらされる形にはせず、**児童会太陽や代表委員会が主体となってあいさつの意義を考え、児童会活動の一環として行うのが良い**と考えています。夏休み明け、児童会太陽と代表委員会担当の先生方で相談して、どちらかの委員会で取り組んでもらおうと思います。
- 先生方も参観日以外の日常でも、できるだけネームカードを付けていただき、すれ違う児童に「先生の名前は何でしょう」とクイズを出したり、先生の名前を呼んであいさつできた児童を大きな声でほめたりしていただくと良いかと思えます。
- **忘れ物については、小中連携で「メモを活用する」となっていました。**児童には、手ぶらで忘れ物を報告させるのではなく、忘れた日や忘れた物のメモを済ませた状態で担任に謝罪し、さらに職員室に物を借りにきたり、コピーを依頼したりさせてはどうでしょうか。日頃から忘れ物を当たり前と思わせないような指導にご協力をお願いします。

<思いやりの心で自ら行動できる子>

- 児童同士で工夫して遊んだり、声をかけ合って生活したりする「意識が低い」というご意見ですが、低学年はまだできていないかもしれませんが、高学年になるほどできていると思います。**放課後も、グラウンドに大勢の児童が集まって、児童同士で仲良くできるようになってきました。大麻小で決まっている長・昼休みに「全員遊びを週2回以上」を6年間継続し、教師主導から児童主体に少しずつ成長させていくことが大切です。週2回の全員遊び、ぜひ継続していきましょう。**

第2部 分掌編

(1) 教務部

| | |
|-----|---|
| 重 点 | <p>学ぶ喜び・確かな学力向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的・自治的な集団づくり ・学力向上の推進 ・授業改善の推進 ・指導体制の工夫 ・学習環境の充実 ・学習常規（大麻小スタンダード）の定着（返事、姿勢など） ・いじめへの毅然とした対応 ・相談体制の確立 ・保護者や地域との連携促進 ・教育課程の評価・改善と研修の充実 ・働き方改革の推進 |
|-----|---|

部としての取組（◎） 今後取組予定（◇）

◎特別支援教育の推進

◎教育環境整備の企画・推進

◇現在取り組んでいることの継続

| 評 定 | 4.3 | 意見等 |
|---|-----|-----|
| <p>①クラス、学年ごとの特別支援の会議が放課後に設定されている。価値は高いと感じるが、たくさんの先生方が出席して行くべきか考えると、再考してもよいと思う。</p> <p>②管理文化部にも関わりますが、この学校には教材室が無いので、どの教科の教具がどこにあるのかが新しく来た先生がわかりにくいようです。一覧表にしておくのではないのでしょうか。</p> <p>③経営案の大麻小スタンダード数や家庭学習の基準が曖昧。担任の聞き方で隣のクラスと大きな差が出てしまう。</p> <p>④事務で使用する様式やデータと重なる部分が多々あるので、データの共有や様式化で業務負担軽減ができるかと思います。</p> <p>⑤児童への指導が行いやすいように、気づいたことはすぐに改善していただき、ありがとうございます。</p> <p>⑥いつもすばやい対応で助かっております。</p> <p>⑦高橋先生を中心に特別支援の体制ができています。</p> | | |

新型コロナウイルス感染症対策に関わって、分掌としての見直しや取組について

- ⑧北海道も大麻小も感染「レベル2」のままですが、鬼ごっこや給食中の会話、教室での合唱が学年によって始まっているようです。近隣校と足並みをそろえていってはどうでしょうか。
- ⑨参観日の学級懇談は、教室でよい。5・6年生は宿泊や修学旅行の学年懇談なので、体育館でよいと思うが。保護者は、5名程度の入室を守ってくださっていたが、廊下の方が人数が多くなっていた。
- ⑩いざというときに、外部、保護者へ説明責任を果たせるように、今後もしっかりと対策をとっていかないと、自分たちの首を絞めることになるので、しっかりと取り組んでいきましょう。
- ⑪学習の仕方（歌唱指導はまだしてはいけないのかなど）の変更が随時行われるとありがたい。
- ⑫6月の参観日は、6月に運動会があることや市内一斉公開日があったことなどを考えると、なくてもよいのではないかと思います。
- ⑬日々変わる基準に柔軟に対応していただいていることに感謝。

働き方改革に関わっての分掌としての見直しや取組について

- ⑭これからも勤務時間内に会議を設定し、終わるよう努めます。
- ⑮会議が休憩時間に設定されておらず、大変ありがたい。今後も遵守していただきたい。

上記以外で気付いたこと、課題、改善を図ってほしいことなど（自由記述）

| |
|--|
| |
|--|

【見解】教務

(新型コロナウイルス感染症対策・働き方改革については、記述がなくても、見解をお願いします。)

- ①について 出席者は、担任の他、管理職、担外、養護教諭、コーディネーターです。情報を共有して、有効な支援につなげていきたいという思いがありますので、従来の方法を継続していきたいと考えます。
- ②については管理文化部の方で見解を出します。
- ③家庭学習の取り組みの割合の出し方が曖昧ととらえました。調査期間中に、学年×10分家庭学習をした人数÷調査期間中の出席人数×100＝割合（％）で出してください。また、家庭学習についてのおさは、スマイル計画のP7～8を読んでいただき、学年担任間で確認、共通理解を図ってください。
- ④について、データを共有しやすいように、不便なところを聞きながら、よりわかりやすく整理していきます。
- ⑧⑪⑬に関わって、これからも本校の感染症対策はきちんと道や道教委の方針を基に進めます。方針を基に本校児童の実態や近隣校の様子も踏まえ決定していきます。
- ⑨について 感染レベルの状況にもよりますが、基本的に学級懇談は教室でよいと考えます（5・6年生がトレセンや修学旅行の説明で学年懇談を実施する場合は、体育館）廊下は密状態にならないように、案内文書に協力をお願いを付け加えます。
- ⑩その通りです。
- ⑫参観日は、4月、6月、9月、2月の4回です。6月の参観日には目的があり（学級の様子を伝え、5・6年生は行事の説明）、運動会や市内一斉公開日では補うことができないと考えます。また、廃止すると間隔が開きすぎるということもあり、6月の参観日はそのまま継続と考えます。
- ⑭これからも勤務時間内に会議を設定し、終わるよう努めます。

(2) 研修部

| | |
|-----|---|
| 重 点 | 「学びに向かう・人間性」を育てる授業づくりの推進 ・学力向上の推進 ・授業改善の推進 ・教育課程の評価・改善と研修の充実 ・今日的教育課題 ・働き方改革の推進 |
|-----|---|

部としての取組 (◎) 今後取組予定 (◇)
◎三部会に分かれての仮説検証のための実践
◇学力向上、「主体的、対話的、深い学び」に繋がる ICT 機器を使った研修

| | | |
|-----|-----|-----|
| 評 定 | 4.3 | 意見等 |
|-----|-----|-----|

- ①まだ具体的な動きが始まっていないので、評価しにくいです。ICT, 特にタブレットやLINEのプログラミングゲームを使ったミニ研修を増やして欲しいです。
- ・取り組みやすく、無理のない研究だと感じます。
 - ・理論研修がわかりやすく、共通理解を図ることができていると思います。
 - ・勉強になる研修になっていてありがたいです。
 - ・とてもためになる研修ばかりで勉強させていただいています。
 - ・わかりやすい研究で、成果が子どもに還元されやすい。

| |
|--------------------------------------|
| 新型コロナウイルス感染症対策に関わって、分掌としての見直しや取組について |
| 働き方改革に関わっての分掌としての見直しや取組について |

| |
|-------------------------------------|
| 上記以外で気付いたこと、課題、改善を図ってほしいことなど (自由記述) |
|-------------------------------------|

【見解】研修

(新型コロナ感染症対策・働き方改革については、記述がなくても、見解をお願いします。)

| |
|--|
| ①ミニ研修でタブレットの利用、グーグル workspace について行う予定です。 ・働き方改革については、休憩時間にかからない研修時間の設定、研修日での指導案づくりなどを行い、就業時間内で終わる研究を目指しています。 |
|--|

(3) 児童生活部

| | | |
|---|--|--|
| 重 点 | 自主的・自治的な集団づくりの推進 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自主的・自治的な集団づくり ・防災防犯教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめへの毅然とした対応 ・働き方改革の推進 |
| 部としての取組 (◎) 今後取組予定 (◇) ◎日報や顔写真を活用した予防的・積極的生徒指導・安全指導 ◎コロナ禍に対応した児童会活動・各種集会 ◎担任・特別支援・心の相談員や支援員と連携した迅速な生徒指導・保護者対応 ◇保護者引き渡し訓練・全校一斉方面別下校訓練の企画推進 | | |
| 評 定 | 4.3 | 意見等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策として、休み時間の割り当てを作っていたが、もうそろそろ無くしてもよいのではないだろうか。学校での感染はほぼ無く、あったとしてもクラスレベルで落ち着いているのではないだろうか。業務量の削減と子どもの休み時間の行き場を考えると、もうなくてもよいと思う。 ・児童会太陽や代表委員会など児童が中心となった「あいさつ運動」が弱い気がする。 ・器具室の整頓は保体委員会で毎回取り組むと良いかと思えます。 ・問題が発覚したときの対応、迅速な指導が早くて素晴らしいと思えます。 ・挨拶が4月と比べると弱くなっている気がします。交わしても気持ちが伝わらない挨拶では意味がありません。高学年がお手本になり、自ら、相手の目を見てする気持ちの良い挨拶が広がるよう、温度差なく今後も指導を続けていきたいと思います。 ・子どもの顔写真は、C4thの児童名簿に登録されているとクラス解体があってもそのまま引き継いで写真を確認できるので新学期の登録にも余裕が出ると思えます。 ・集会・委員会活動などその時できることを工夫され、活動できている。 ・今井先生が中心となり、素早い対応がありがたいです。 | | |

| |
|--------------------------------------|
| 新型コロナウイルス感染症対策に関わって、分掌としての見直しや取組について |
| |
| 働き方改革に関わっての分掌としての見直しや取組について |
| |
| 上記以外で気付いたこと、課題、改善を図ってほしいことなど（自由記述） |
| |

【見解】児童生活

(新型コロナウイルス感染症対策・働き方改革については、記述がなくても、見解をお願いします。)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが「落ち着いた」かどうかの判断は児童生活部単独ではできません。道・市・近隣校（大麻中校区）の状況を見て管理職や教務、学芸会担当と相談して基準が示される予定です。7月中旬現在、ウイルスが感染力の高いBA.5型に置き換わり、道外では感染の第7波が広がっており、今後、道内でも確実に増加すると思われます。道外では医療機関がひっ迫している状況です。医療機関がひっ迫し、救える命を救えないという状況をもたらさないためにも、今は、学校としても道教委や市教委が示す「感染リスクの高い教育活動」は行わないことが大切です。また、クラスで2人以上陽性者が出ると学級閉鎖になることは変わりません。すでに市内の小中学校では学級・学年閉鎖も出ている状況です。熱中症対策でマスクを外す機会が増えている分、いろいろなクラスの児童が接触したり、密集したりする機会を減らし、感染対策防止の徹底を心掛けるべきではないでしょうか。 ・体育器具室の整理整頓については、まずは、健康安全部・管理文化部で検討していただき、保体委員会の活動で実施する必要ということであれば、今後行っていこうと思います。 ・児童の顔写真をC4thへ登録することについては、教務部管轄なので、今後、検討していただければと思います。 |
|--|

(4) 健康安全部

| | | |
|---|---|-----|
| 重 点 | 健康でたくましい心身づくりの推進 ・体力向上の推進 ・保護者や地域との連携促進 ・働き方改革の推進 | |
| 部としての取組(◎) 今後取組予定(◇) ◎体力作りの企画、運営(なわとびの推奨) ◎保健室の運営(各検診の計画と運営) ◎食育の企画、運営 ◎遠足の企画、運営 ◎運動会の企画、運営 ◎体力テストの企画、運営 ◇水泳学習の企画、運営 | | |
| 評 定 | 4.4 | 意見等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・系の提案通りに体力テストを実施しましたが、時間内に終わらなかった学年がいくつかありました。担任が進めるのか、担外が進めるのか、反省を取った方が良いと思いました。 ・体力テストグッズを箱にひとまとめにして、どこにそのグッズが保管されているかを明記してあります。金属製の長座体前屈測定器2つを今年度使いました。ソフトボールのラインは雨で流れるのでギリギリまで引かない方が良いでしょう。 ・器具室の整頓は保体委員会で毎回取り組むと良いかと思えます。 ・体力テストは、全校で計画的に行うことでスムーズに行え、とてもありがたかったです。 ・コロナの感染状況等、実態に合わせた活動になっていてやりやすいです。 | | |

| |
|--------------------------------------|
| 新型コロナウイルス感染症対策に関わって、分掌としての見直しや取組について |
| 働き方改革に関わっての分掌としての見直しや取組について |

| |
|---|
| 上記以外で気付いたこと、課題、改善を図ってほしいことなど(自由記述) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・花の管理や追肥の呼びかけがあると良いと思えます。 ・運動会のライン引き(ピン打ち)、別の形(ロープでなく、ピンではなく)にできないものか? アイデアはないのですが・・・、すみません。作業が大変なのと、ロープが浮いてきて、足がひっかかかき、転びました。 |

【見解】健康安全

(新型コロナウイルス感染症対策・働き方改革については、記述がなくても、見解をお願いします。)

| |
|--|
| <p><体力テストについて> 反省をとるべきでした。申し訳ありません。進め方ですが、全体の進行は担任が行い、種目ごとに分かれてからは種目担当の先生に進めていただければと思います。職員の割り振りにつきましては、次年度の職員数をもとに検討していきたいと考えます。</p> <p><器具室の整頓について> ご意見いただき、ありがとうございます。保健体育委員会で取り組んでいきたいと考えます。</p> <p><運動会のラインについて> 他に良いアイデアがありましたら、教えていただきたいです。今までの学校でこれは良かったというやり方はありませんか?</p> |
|--|

(5) 管理文化部

| | | |
|---|---|-----|
| 重 点 | 安全・安心な落ち着いた環境づくりの推進 ・授業改善の推進 ・学習環境の充実 ・働き方改革の推進 | |
| 部としての取組(◎) 今後取組予定(◇) ◎教育課程の変更に伴う学力向上につながるICT等の整備 ◎タブレットを活用した授業改善の工夫 ◎広く情報を発信するためのブログ更新 ◎読書の啓蒙 ・朝読書の指導の統一(木曜日) ・図書室の運営 ◇学芸発表会の企画、運営 ◇管理事務情報の周知 ・新たな学びの様式に対応 ◇教育環境整備 | | |
| 評 定 | 4.3 | 意見等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・教務部にも関わるが、この学校には教材室が無いので、どの教科の教具がどこにあるのかがわかりにくいです。一覧にしておいたり学習環境を整えたりしていくと良いと思います。 ・ICT 機器の活用に関わり、タブレットを活用した授業の先生方のアイデアを財産として記録していくと良いと思います。 ・昨年度からの流れで、児童がタブレットの使用がスムーズになり、成長を実感しています。 | | |

| |
|--------------------------------------|
| 新型コロナウイルス感染症対策に関わって、分掌としての見直しや取組について |
| ・寒くなる前に、換気扇の掃除の時期を設定すると良いと思います。 |
| 働き方改革に関わっての分掌としての見直しや取組について |
| |

| |
|------------------------------------|
| 上記以外で気付いたこと、課題、改善を求めてほしいことなど(自由記述) |
| ・花の管理や追肥の呼びかけがあると良いと思います。 |

【見解】管理文化

(新型コロナウイルス感染症対策・働き方改革については、記述がなくても、見解をお願いします。)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教材教具の各学年別に使用できるものをまとめた資料が昨年度まで教育課程につづられていたものがあるため、新しく購入したものを追加して担任が見やすいように整理したいと思います。 ・全教員がクラスルームの中を見ることができるよう整備していく。急ぐ方は、繁泉まで直接声をかけてください。急いで対応します。 ・タブレットは、使用した分だけ児童の上達が早くなっているので、児童とのルールを決めて活用を増やすとよい。 ・換気扇の掃除については、山口さんと相談をして、清掃作業を進めていきます。 ・肥料の予算がオーバーしているため、これ以上の追肥はできませんが、雑草などの呼びかけは、していきます。 |
|---|

(6) 教頭

| | |
|--|-----------------------|
| 重 点 | 連携・戦略 *発信 *連携 *整備 *管理 |
| 部としての取組(◎) 今後取組予定(◇) ◎日報を利用したよびかけ ◎市教委との密接な連携(特に児童関連) ◎職員会議でのよびかけ(教頭ミニ研修) ◎報連相の徹底 ◎分掌間連携の調整 ◎PTAとの連携 ◎地域、自治会との連携 ◎学校運営委員会の運営 | |
| 評 定 | 4.6 意見等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日報で連絡をしても伝わっていないことが多く感じます。C4thやサイボウズ等システムの利用で既読確認や返信ができると良いです。先生のタブレットでの確認ができれば、なお良いのですが。 ・いつも気にかけていただき有難うございます。 | |
| 上記以外で気付いたこと、課題、改善を図ってほしいことなど(自由記述) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・休んでください。 ・土日は、しっかり休んでください。 | |

【見解】教頭

- ・現在の日報を活用した周知の方法から、C4th・サイボウズ・端末を用いるなど、情報を発信・共有する「より有効な手段」を検討していきたいと思えます。
- ・皆さんに支えられて夏休みまでたどり着きました。今後も様々な形でご協力をお願いすることになりますが、迷惑をかけることのないように精進いたします。

* どこに書いたらよいかわからないこと(気づいたことを何でも)

- ・いつも交流学級に温かく受け入れていただき、ありがとうございます。同学年とのかかわりが子どもたちにとって良い刺激になっています。今後も学年の先生方と連携をとって交流学习を進めていきたいと思えますので、何かお気づきの点があればおしえていただくと助かります。今後どうぞよろしくお願ひいたします。
- ・提案時に気づかずすみませんでした。よつば学級の教員2名が図書担当で、休み時間に図書室へ行くことが多く、支援級内の子どもの掌握等が少し大変だったので、教員分担するときに考慮してほしい。掃除区域担当も、低学年トイレ、高玄関、よつばトイレ等、職員割り振りが多く、自分たちの教室内の掃除もままならない状況で大変だったので、次年度は、考慮していただくと大変助かります。

【見解】その他 各部で該当する内容について、見解を記入して下さい。

児童生活部

- ・図書委員の担当教諭が2名ともよつば学級担任であることについては、分掌業務との兼ね合いもあると思えます。夏休み明けもよつば学級の体制が厳しくなるようでしたら、管理職の先生と児童会担当とで相談し、担当委員会の変更も検討していこうと思えます。
- ・掃除の担当区域については、健康安全部管轄となります。

健康安全部

<掃除区域担当について>

現状をお聞きした上で、方向性を決めていきたいと思えます。後日、改めてお話を伺いたしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について（6年生）

1. 児童質問紙の結果

（1）全国平均を上回っている項目（特徴的なもの）

| 項 目 | |
|-----|-------------------------------|
| 1 | 朝食を毎日食べている |
| 2 | 毎日、同じくらいの時刻に寝ている |
| 3 | 毎日、同じくらいの時刻に起きている |
| 4 | 携帯電話・スマートフォン・コンピュータの使い方の約束を守る |
| 7 | 自分には、よいところがある |
| 9 | 将来の夢や目標を持っている |
| 10 | 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている |
| 14 | 困りごとや不安がある時に、先生や大人に相談する |
| 15 | 人の役に立つ人間になりたい |
| 16 | 学校に行くのは楽しい |
| 17 | 自分と違う意見について考えるのは楽しい |
| 18 | 友だちと協力するのは楽しい |
| 20 | 家で自分で計画を立てて勉強している |
| 26 | 読書が好き |
| 27 | 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある |
| 30 | 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある |
| 36 | 学習の中で ICT 機器を使うのは勉強のために役に立つ |
| 42 | 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、時間 |
| 43 | 学級の友だちと話し合う活動で、自分の考えを深める、広げる |
| 44 | 学習した内容を見直し、次の学習につなげる |
| 47 | 学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことに取り組む |
| 51 | 国語の授業の内容はよくわかる |
| 61 | 理科の勉強は好き |
| 63 | 理科の授業の内容はよくわかる |
| 67 | 理科の授業では、予想をもとに観察や実験の計画を立てている |

（2）全国平均を下回っている項目（特徴的なもの）

| 項 目 | |
|-----|------------------------------|
| 11 | 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している |
| 45 | 総合的な学習（課題を立てる、情報整理、調べたことを発表） |
| 53 | 算数の勉強は好き |
| 69 | 理科の授業で、進め方や考え方が間違っていないか振り返る |

【質問紙の結果から見える課題と改善策】

※携帯電話やスマートフォン・PC の使用に関する約束は大半の子は守っているとの結果が得られていますが、ゲームや動画視聴の時間が長い子の割合が高くなっています。使い方の見直しやメディアリテラシーの向上を図る取組を進めると共に、教育相談等を通して、家庭、保護者への協力を伝えていきます。

※「決めたことをやり遂げる」と回答した子が多い一方、「失敗を恐れないで挑戦する」では、「当てはまらない」という割合が高い傾向にあります。子どもたちの挑戦したいという気持ちを認め、結果だけを見ず、その過程を含めて褒めたり励ましたりする支援を継続的に行っていくことが重要だと考えます。

※平日も土日も、1時間以上2時間未満勉強をしているという回答の割合が最も高くなっています。時間だけを評価するのではなく、そこに費やしている学習内容や学習方法も重要です。質の向上を一層図るために、家庭学習のノートを見合う、良い内容のものを紹介するというこれまでの手立てを継続すると共に、中学生のノート紹介（小中一貫教育をからめて）なども考えていく必要があると考えます。

※国語の「好き」「よくわかる」については全国平均より高い傾向が見られますが、算数の「好き」は低く、苦手意識を持っている子の割合が高いことが窺えます。一人一人の躰きを見取り、少人数指導を効果的に取り入れるなど、工夫した指導を進める必要があると考えます。理科については「好き」「よくわかる」の割合が高く、子どもたちの興味関心が引き出され、それが意欲や理解につながっていると考えます。

※「自分にはよいところがあるか」という質問では、どちらかといえばも含めると、自分のよさを捉えており、自己肯定感をもっている子の割合が高くなっています。

2. 各教科平均正答率

(1) 本校児童の教科別理解度（全国平均正答率との比較）

| 教科 | 国語 | 算数 | 理科 |
|----|--------|-------|----------|
| 結果 | 上回っている | 同様である | やや上回っている |

(2) 本校児童の領域別理解度（全国平均正答率との比較）

| | | | | | | |
|----|----|--------------|----------|--------------|--------|-------|
| 国語 | 分類 | 学習指導要領の内容 | | | | |
| | | 知識及び技能 | | 思考力・判断力・表現力等 | | |
| | 区分 | 言葉の特徴や使い方 | 我が国の言語文化 | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと |
| | 結果 | 上回っている | 上回っている | やや下回っている | 同様である | 同様である |
| 算数 | 分類 | 学習指導要領の領域 | | | | |
| | 区分 | 数と計算 | 図形 | 変化と関数 | データの活用 | |
| | 結果 | 同様である | 同様である | 同様である | 上回っている | |
| 理科 | 分類 | 学習指導要領の区分・領域 | | | | |
| | | A区分 | | B区分 | | |
| | 区分 | 「エネルギー」 | 「粒子」 | 「生命」 | 「地球」 | |
| | 結果 | やや上回っている | 上回っている | やや上回っている | 同様である | |

2. 各教科の分析と指導の改善点

【国語】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「我が国の言語文化に関する事項」といった知識・技能では、全国平均を上回る正答率があった。一方で、思考力、判断力、表現力のうち、特に「書くこと」の正答

率が低く課題と捉えている。問題形式ごとにみると、選択式や短答式に比べ、記述式では低い正答率であった。設問の内容を理解し切れていない、また条件を満たして書くことができていないという課題がある。無答率については、後半ほど多くなる傾向が見られる。たくさんの文章を読み取る中で、多くの時間を費やしてしまったり、問われている内容を理解できなかったりという原因が考えられる。

<国語：今後の授業・指導の改善点>

- ◆主語と述語の関係を捉えて書くことができるようにする。
- ◆与えられた条件の中で文を書くことができるようにする。
- ◆一文の長さを意識して、分かりやすく伝わるように文を分けて書くことができるようにする。

今後も、教務係が中心となって推進している「学力向上スマイル計画」の中で、言語活動の充実を重点とする「国語科の学習の流れ」を提示し、共通理解を図った取組や、授業冒頭の3分間言語タイムでの漢字習得や言語に関するドリル時間の確保の取組などを進めていく。説明的文章の学習をもとに、文章構成を意識しながら自分で論述する取組を続けるなど、日常的に継続した実践が必要である。これまでに成果が見られた取組を継続・発展させていく。

【算数】

変化と関係が他の領域と比べ正答率が低くなっていた。また、評価の観点から見ると、思考・判断・表現が低くなっている。また、中学年で既習したが数や図形の性質について、基本的事項の定着が不十分であり、学んだことを日常の場面で活用する力に課題が見られる。また、設問から得られる情報量が多いため、何を問われているかを捉えることに苦慮している児童が多い。

<算数：今後の授業・指導の改善点>

- ◆情報を整理し、立式できるようにする。
- ◆プログラミング的思考の学習を充実させる。
- ◆概念を理解し、それを利用できるようにする。
- ◆与えられた条件の中で、解答文を書くことができるようにする。

今後も「学力向上スマイル計画」の中で、算数的活動・言語活動の充実と習熟の時間の確保を重点とする「算数科の学習の流れ」について共通理解を図り、授業冒頭の3分間復習タイムで基礎基本の確実な定着を図っていく。算数科の学習の流れについては今後も習熟の時間の確保を重点とし、授業冒頭の3分間復習タイムの位置付けなど、基礎基本の確実な定着に力を入れていく。一方、数学的な考え方を高める指導の工夫とともに、自分の考えを文章や言葉に表して説明し合う活動などを取り入れていく必要がある。

【理科】

「生命」を柱とする領域が最も高い正答率であった。無答率は、国語や算数に比べ、低い傾向にある。設問の内容から、何を求められているのか読み取ることや、実験や観察の結果から、どのように分析し考察していくのかという力が求められる。

<理科：今後の授業・指導の改善点>

- ◆与えられた条件の中で、解答文を書くことができるようにする。

現象や事象を理解することに限らず、学んだことをもとに、指示や条件にそってまとめたり、話し合い活動をしたり、条件を意識して学習を進める意識を高めていく。加えて、科学的な考え方を高める指導の工夫とともに、自分の考えを文章や言葉に表して説明し合う活動などを取り入れていく必要がある。

全校的な改善策として

- (1) 日常のテストの結果や学習状況の分析・考察をもとに、指導方法工夫改善に係る教諭、支援員や学習指導員、学習サポート教員等の配置を工夫し、個に応じた指導の充実を図る。
- (2) ICT機器の有効活用によるわかりやすい授業づくりなどの改善に役立て、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善に向けて自己評価を行う。また、「国語・算数の一単位時間の学習の流れ」(言

語タイム・復習タイム、課題把握、思考・意図的交流、終末の振り返り、まとめ、定着・習熟時間の設定)の徹底を図る。

- (3) 九九検定・たしひき検定等の各種検定、百マス計算の実施などにより、基礎・基本の確実な定着と繰り返し学習の徹底を図る。
- (4) 全国学力・学習状況調査および標準学力調査の過去問題の活用や、チャレンジテストの実施を通して、出題傾向や時間配分を踏まえて問題に取り組む力、最後まで諦めずに解答を記入・選択する力などの育成を図る。
- (5) 家庭学習の手引きや生活リズムチェックシートを活用し保護者との連携により家庭学習の習慣化に取り組む。年4回の家庭学習調査を実施し、学年×10分間以上の目標を達成していない児童には、具体的な取組み方法(何を、どうやって、いつするか)をサポートする。また、学習意欲の向上、自己肯定感を高めるためにキャリアパスポートを定期的に活用する。

令和4年度の学校支援について ～これまでの活動と今後の見通し～

1. 今年度のこれまでの活動

(1) ボランティア活動

| 活動の概要 | 実施期間・回数等 | 内 容 ・ 状 況 等 |
|---------------------------|---------------|---------------------------------|
| ミシンの使い方指導や不具合発生時の修復等のお手伝い | ◇6月 ◇今後も予定 | ◇6年生・ミシン操作の補助 ◇現在、登録者は4名 |
| ベルマークの点数集約をする | ◇おもに各自が自宅で作業 | ◇ベルマークの集計、送付作業の実施 |
| 月に1～2度、登下校の際に立哨指導を行う | ◇随時 | ◇今年度の登録者は8名 |
| 図書室の装飾や図書の修繕など | ◇ 7月より活動開始 | ◇図書室の整理作業 |
| 子どもたちに読み聞かせをする | ◇ 7月より活動開始 | ◇朝自習・長休みに各学年で実施 オンラインでの実施を検討 |

(2) その他の活動

| 活動名 | 活動の概要 | 実施期間・回数等 | 内 容 ・ 状 況 等 |
|---------------|---|----------------------|--------------------------------|
| 登下校時・外出時の立哨指導 | 児童の安全確保のために立哨指導をしていただく。 | ◇随時 | ◇複数の自治会にご協力いただいている |
| 駐車場借用 | 神社横の土地を行事の際に開放いただく(第二住区・元町連合会)。区割りをさせていただくこともある。 | ◇随時 | ◇学校行事や参観日の際に借用 基本は徒歩での来往を依頼 |
| 資源回収 | 保護者だけでなく、地域の方にもご協力いただく。益金はPTAの収益金会計に繰り入れて子どものために使われる。 | ◇毎月第1月曜日 ◇今まで7回実施 | ◇収益金使途 さくら連絡網年間使用量 86,680円等 |

2. 今後の活動

*高学年のスキー場での指導ボランティア ～ スキー学習に協力いただき、指導や支援をいただく。

*低学年のグラウンド雪山でのスキー補助ボランティア

～ スキー靴や板の着脱のお手伝いや、転んだ児童が起きる支援等をしていただく。

☆今後、検討される活動についてアイデアがあればご意見ください。

第2回 学校運営委員会 会議録

10月20日（木） 14：25～ 大麻小学校 高学年活動室

出席9名

授業参観⇒会議の実施

①授業参観後の感想

- ・6年生で今の時代に合ったパソコンを使った授業を見せていただくことができた。子どもたちが自分たちで捜査して、学んでいる姿に驚いた。
- ・子どもたちの意欲を増すパソコンを使った授業もいいけれど、それだけでは身に付けることができない学習内容もあると思うので、そこをしっかりと考えながら進めてもらいたい。
- ・低学年は元気よく、高学年の挨拶が授業中で状況にあった挨拶ができていた。継続してあいさつがきちんとできているところが大麻小学校の良いところで、すばらしい。今後も続けて行ってほしい。
- ・子どもたちの笑顔がすごくいい。学校の雰囲気がいいからこそ、子どもたちも気持ちよく過ごせている。

②今年度の学校経営について

- ・5，6年生の理科専科の教員配置は、今後もぜひ継続してほしい。